

(報道関係各位)

1ヶ月先の消費を占う「消費意欲指数」は、
毎月25日前後に発表いたします。

2月末に調査した2008年3月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2008年3月の消費意欲は、先月から0.8ポイント増加し、
51.1点でした。

前年同月比は0.9ポイントの減少。3月としては2005年以降の最低値。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

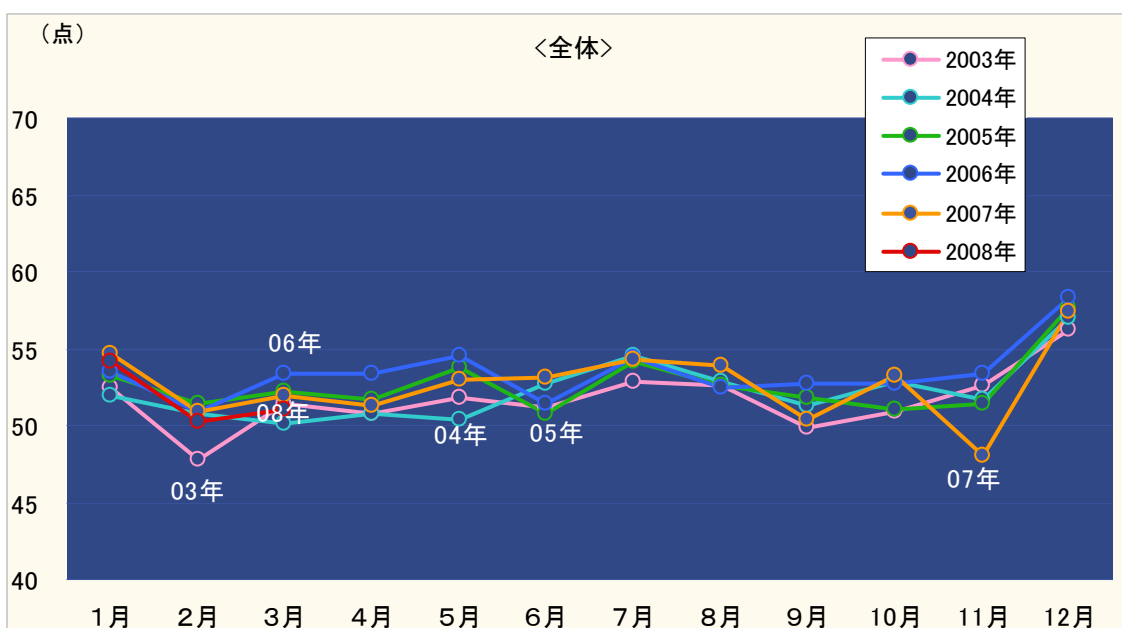
2月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者415名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2008年3月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「3月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2008年3月の消費意欲指数は先月から0.8ポイント増加し、51.1点でした。

2008年3月の消費意欲指数は先月から0.8ポイント増加し51.1点となりました。先月からやや回復しましたが3月としては2005年以降の最低値です。前年同月比は0.9ポイントの減少で、これで昨年11月から5ヶ月連続で前年を下回りました。

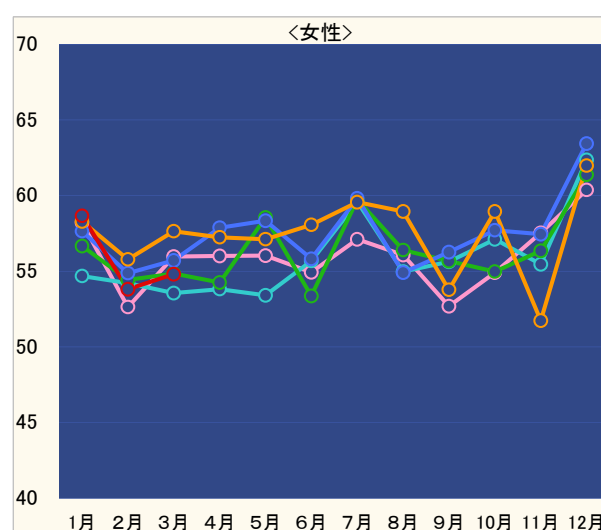
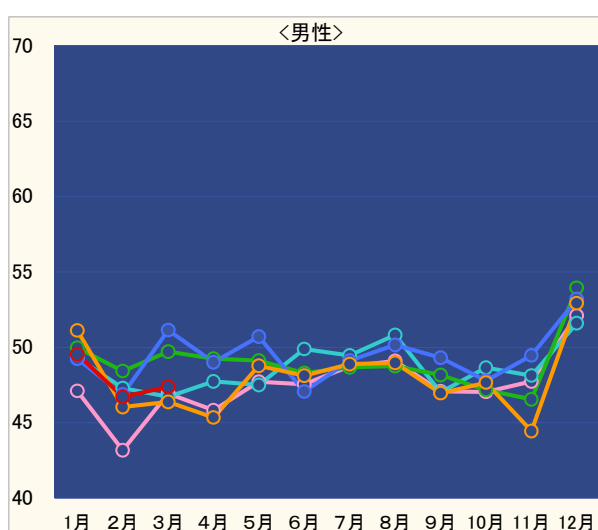
このところの急激な円高や株安、原材料費の高騰などで企業業績の先行きにも懸念が指摘されています。暮らし回りでも、所得が伸び悩む中、ガソリン、日用品、食品など身近な商品、生活必需品の値上がりも広範囲に及ぶようになり、家計の負担増につながってきています。景気の先行きに不透明感が強まり、物価高傾向も継続しそうです。内閣府発表の2月の消費者態度指数は5ヶ月連続で低下、2003年3月以来の低水準になっています。



■ 男性の指数が2ヶ月連続で前年超え。女性は2ヶ月連続で前年割れ。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比0.7ポイント増の47.4点、女性が1.0ポイント増の54.8点となりました。前年同月比は男性が1.0ポイント増、女性が2.9ポイント減でした。男性は久しぶりに2ヶ月連続の前年超えとなりましたが、女性は逆に2ヶ月連続の前年割れです。

同時調査の生活力点の「モノ消費」項目では、男性は、過去1年間での最低値に近い数値だった先月に比べ「中くらいな」「大きな値の張る」買い物がやや回復しました。女性は「日常的な小さな買い物」「中くらいな買い物」が先月大幅に減少しましたが、その流れは変わらず3月は「日常的な小さな買い物」が2000年5月の「生活力点に関する調査」開始以来の最低値となりました。身の回りの商品やサービスの値上がりに対して女性の家計防衛の意識が強まっているようです。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://www.seikatsusoken.jp/>) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要: HILL ネット調査】

調査地域: 首都圏 / 調査対象者: 19~73 才の男女個人 415 人 / 調査方法: 郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

